

11. 沖縄（地域別調査機関：（財）南西地域産業活性化センター）

（-：回答が存在しない、：主だった回答等が存在しない）

分野	景気の先行き判断	業種・職種	景気の先行きに対する判断理由	
家計 動向 関連	良くなる やや良くなる	-	-	
		百貨店（営業担当）	・近接する市役所の建て替え移転の影響による客数減少などもあり、売上実績は前年比でマイナスとなっているものの、前年割れの幅は少しずつながら縮小傾向にある。市役所仮移転の影響を差し引いた景気動向による売上の減少については、多少底が見えてきた感がある。	
		コンビニ（エリア担当）	・子ども手当の支給により、6月ごろから多少、消費は活発になると見込む。また、ゴールデンウィーク並に観光客が増加すると、景気へは好影響が期待できる。	
		衣料品専門店（経営者）	・前年の1～4月期の売上と今年とでは、大きな違いがある。自らの努力もあるが、明らかに来客数が増え、結果、販売量も増加している。この勢いを持続させていけば、通りにも活気が生まれてくるのではないかと。	
		通信会社（店長）	・買い控えの客が少なくなってきたので、徐々に良くなる期待が持てる。	
		通信会社（店長）	・現在の好調を保ち、今後、子ども手当などで経済的な余裕が生まれれば、購入への動機付けになる可能性がある。	
		通信会社（サービス担当）	・子ども手当の支給で少し余裕が出そうであるが、不安はぬぐえない。	
	観光名所（職員）	・7月～8月にかけて、全国高等学校総合体育大会が開催されること、自動車業界等の回復が見られること等により、県外入域観光客に頼る沖縄観光は、回復が予想される。		
	変わらない	スーパー（企画担当）	・野菜など一部、相場高な部門はあるが、全体的には単価下落のトレンドが続いている。天候不順など先行き不透明な点が多く、現状が好転するとは考えづらい。	
		スーパー（販売企画担当）	・今年の4月より社会保険料などが高くなり、企業への負担が大きくなる。これでは給与も上がらず消費も上向かない。	
		コンビニ（経営者）	・近隣のマンションやアパートに空きがあるので、来客数にはあまり期待できない。	
		コンビニ（エリア担当）	・夏場の繁忙期に向けて、天気さえ良ければ売上はある程度作れるが、客の購買意欲はこれまでと変わらず、景気が回復しているとは言えない。	
		衣料品専門店（経営者）	・1点単価、客単価共に下げ止まり感はあるが、販売客数、買上点数共に上がる気配があまり見えない。少し様子を見たい。	
		その他専門店【楽器】（経営者）	・海外で起こった異常気象などにより、より安全な沖縄へ観光客が来ることが期待される。また、インターハイの全国大会が起爆剤になる。	
	やや悪くなる	その他専門店【書籍】（店長）	・書店業界については、大手企業の電子書籍部門への参入により、紙媒体の書籍という商品自体の需要が今後少なくなっていくのではないかと不安がある。元々粗利の少ない業界だけに安価で手に入れることのできる電子書籍の参入は脅威である。	
	悪くなる	商店街（代表者）	・中心商店街のエリアは、観光客も数か月前から微妙に減少し、売上も減少しているような感がある。外国人観光客はわずかながら増えているようであるが、売上にはなかなか結び付かない。また、似たような業種間で客を奪い合っている。	
		その他飲食【居酒屋】（経営者）	・市場のニーズにあった美味しい商品と基本レベル以上のサービスをクリアした上で、一品300円以下か、食べ放題・飲み放題でない入客を取れない現状があり、内部努力による経費節減も限界に来ている。	
		観光型ホテル（総支配人）	・上海万博、サッカーワールドカップ、参議院議員選挙等で、海外旅行への移行と国内旅行マインドの低迷は当分続く。	
		観光型ホテル（マーケティング担当）	・今月は前年に比べてやや良い状況であるが、2、3か月先の予約状況から見ると、今月の反動で販売量、稼働率は減少する見込みである。	
	企業 動向 関連	良くなる	-	-
		やや良くなる	食料品製造業（管理部門）	・受注量が増える見込みである。
建設業（経営者）			・新築及びリフォームの相談のための来社件数が増加している。	
通信業（営業担当）	・新事業として取り組んでいる、組込み系プログラムの動きが顕著で、近い将来に受注が期待できる。			

	変わらない	窯業・土石製品製造業（経営者）	・現在の需要状況を見ると、2、3か月先はこれといった大型物件が無く、横ばいか減少の見通しである。
		輸送業（営業担当）	・県内消費の状況はまだまだ改善される見込みが立っていない。一次産業が無いだけに観光客頼みの部分が大きく、その観光客数も大きく盛り返す材料が無いようである。
		輸送業（代表者）	・季節要因を除いては、堅調に推移すると考えるが、4月から始まった生コンクリートの管理強化の影響が懸念される。
		広告代理店（営業担当）	・相変わらず、個人消費が低迷している市場環境においては、県内企業の販促活動も同様に厳しい状況が続く。従って、広告業界は、不安定な官公庁関連プロジェクトに依存せざるを得ないのが現実である。
		会計事務所（所長）	・低価格志向はまだまだ続いている。企業の収益性向上にはまだ時間を要する。
	やや悪くなる	コピーサービス業（営業担当）	・コピー機やパソコンの進化により、印刷物の受注量が減っている。
	悪くなる	-	-
雇用 関連	良くなる	-	-
	やや良くなる	-	-
	変わらない	人材派遣会社（経営者）	・医療関係の他に、若干建設工事関係の派遣依頼も出てきたが、一方で契約終了もあり、あまり状況は変わらない。
		求人情報誌製作会社（総務担当）	・前年からの最悪の状態は脱した感はあるが、数字上あるいは実感として景気が良くなる要素が見えない。
		求人情報誌製作会社（営業担当）	・求人数は例年どおりなら6月後半、もしくは7月ごろから減少し始める。恐らく今年もその流れになると見ている。
		学校〔専門学校〕（就職担当）	・年度初めは求人数が増加傾向にあるものの、今後2、3か月先は新卒対象の求人数が減少傾向にあるため、全体としてはそれほど変わらない傾向が続く。
	やや悪くなる	職業安定所（職員）	・就職者は1,397人で前年比5.3%増加しているものの、新規求人数は前年比で27.3%増加、新規求職者は前年比23.8%増加している現状を見ると、2、3か月後に改善する見込みは無い。
悪くなる	-	-	